

時事新報

在地方時事新報購者諸君へ申上候
時事新報購成下候に付て、新報代價并に郵費共必
す前金にて御納入被成下度、毎度申上候事にて御坐候得
共御購成中又ハ送金の御便利之しが爲め、等て兎角御延
引相成候條の向も少ならず、隨て當社會計の帳簿上并取
扱上等に彼是混雜を生し、同心痛罷在候、就ては今後代價御
購成不相成御方へは、新報運送の御購成申上候事にて御極
候御引續き御購成可被成下候條、奉願候、但し目下御納入被
前金相切候期日御承知相成候御便利の爲、先毎日御運送申
上候新報の御封表面御名前の處に、(何月何日)と記入致し有
之此日附の御封金相切可申期日、御座候間右を御覽被
成下度候。

左ノ一篇ハ英國倫敦七月十八日附テ以テ同府ノ通信員
ヨリ寄送シ來リタルモノナリ萬國博覽會ノ出品ヲ日章
旗ヲ翻ヘシテ軍艦ニテ運送スベシトノ事ハ文化日進
ノ我新日本國ヲ世界ノ人ニ披露スル屈強ノ手段ナリト
云フベシ
時事新報記者

永井久一郎氏ハ内務省ヨリ手島精一氏ハ文部省ヨリ倫敦衛
生萬國博覽會掛命セテ三月以前ニ若英相成リヨリ小
生ハソノ出品目錄等ヲ一覽シタルニ出品ノ異數モ格外ニ夥
シク其部分クモ精シクコレヲ前年博覽會ノ出品ニ比ス
レバ實ニ雲泥ノ相異小生輩在留日本人ノ欣喜ニ堪ヘザル所
ナリ唯遺憾ニ思フハ其出品ノ新クマテ延着シテ折角ノ博覽
會モ最早閉場ノ間ギハトナリテ事ナリ此儀ニ就テハ通般已
ニ報道シ置キタル事モアレバ今更此ニ贅セズト雖モ其出品
運送ノ事ニ就テハ別ニ聊カ遺憾トスル所ナキニアラザレバ
已ニ事済ニナリタル後ノ祭、今更コレヲ喋々スルモ萬々無
益ノ事ナレトモ聊カ後來ノ參考ニモカナト左ニ意見ヲ述ブ
ルノ所ナリ
抑モ國ノ体面ヲ維持シテ其名ヲ天下ニ耀カスニ實實ノ同道
アリ大國強國ハ既ニ其實權ヲ有スル者ナレバ強ク其虛術ニ
使ラザルモ可ナリ其實力ヲ以テ足レリトスレバ小國弱國ハ
然ラズ自カテ其實權ヲ有セズ假令其其實權ヲ有スルモコレ
ヲ振フノ場所ナキ者ナレバ其國名ヲ世間ニ擧メ世人ヲシテ
世界ニ其國アルヲ知ラシムルハ虛術ニ依ラザルモベカラズ固
ヨリ軍ニ實權ヲ得ルハ道徳上ニ於テ斷サシムル所ナレバ其虛
名ヲ張ルハ實權ヲ得ルノ手段虛術ヨリ實チ生ク難シク其
生ズ得モ外國ニ遊ビ其事情ヲ見聞セシ者ナランニハ必ズ其
然ルベキヲ知ルコトナラン、抑テ虛術ヲ以テ國ノ体面ヲ張ル
ノ法種々様々アレバ今此博覽會出品運送ノ一事ニ就テ其術
ヲ施シテ我國ノ軍艦ヲ以テ出品ヲ運送スルコトナリ軍艦
ニ博覽會ノ出品ヲ積載スベシト云ヘバ人或ハ軍艦ハ護國戰
争ニ用ユルモノナリコレニ其出品ヲ積載スル杯トハ以テ外
ノ事ナリト云フ者アソカ併シナカテ其國ノ出品ヲ其國ノ
軍艦ニテ運送スルコトハ世間ニ其例之シカラズ既ニ前年和蘭
國「アムステルダム」博覽會ニ佛國ヨリノ出品ハ悉クコレヲ
其國ノ軍艦ニテ運送シ閉場後其物品ヲ持歸ルニモ亦其軍艦

使用セリヤレバ我國ノ軍艦ニテ運送シ出品ヲ積ムベカ
ラズト理ハナカレ可レ其理由アラザルニミナラズ世
界萬國ニ對シテ決シテ愧ヅルコト足ラザルコトナリ軍艦ノ實用ハ
國ヲ護ル爲メニ外敵ト戰ヒ他國ヲ攻ムル爲メ兵軍ヲ運送ス
ルニアリト雖モ此實用ノ外ニ又虚用ノ實アリ即チ世界萬國
ニ航海シテ我他日旗ヲ世人ニ知ラシムル世人ヲシテ東洋ニ日
本國アルヲ知ラシムル日本國ニ軍艦アルヲ知ラシムルコレ
ナリ其實用ヲ以テ我國ニ軍艦ノ備アルヲ知ラシムルハ國名
ヲ耀カスノ最捷徑ナラント雖モ戰争ノ時チ待テ國ノ名ヲ揚
餘リ好ムベキ事ニモアラザレバ戰争ノ時チ待テ國ノ名ヲ揚
ケントスルハ甚ダ難事ナリサレバ我日本ノ如キハ先ヅ何ハ
免マレテ虚術ニ依頼シテ實名ヲ得ルコト甚大切ナリ實ニ
依頼シテ其名ヲ得ントセバ到底其期ナカラン他國ノ商船
ニ依頼シテコレヲ運送スルハ我國ニ軍艦ニテ其費用ノ多
寡ヲ計レバ或ハ多分ノ差異アルベシ軍艦ヲ運送スル時ハ士
官ノ給料旅費等ヨリ其他百般ノ事ニ至ルマテ格段ノ費用ヲ
要スルコトナラント雖モ凡ソ世ノ中ニ金錢ヲ散ゼズシテ益ヲ
得ル者ナシ名ヲ得ルモ實ヲ得ルモ必ズ金錢ノ力ニ依ラザル
ベカラズ軍艦ヲ運送スレバ金錢ヲ費サマルベカラズト云テ
コレヲ運轉セザルノ謂レナレバ最初ヨリ運轉セザルト覺悟ヲ
定メタル者ナレバ萬ノ巨萬ノ金員ヲ擲テ鉄艦ヲ製スルコト
ナセン紙張子ノ軍艦ニテモ事足ルベシ商船ニ依頼シテ其出
品ヲ運送スルモ必ズ若干ノ運賃ヲ拂ハザルベカラズ其運賃
等ノ諸入費諸手数料ヲ差引勘定スレバ我國軍艦ニテコレヲ運
送スルト差シタル損益ノ差ハナカレベシ會ニ損益ナキノミ
ナラズ我國軍艦ヲ以テ運送スル時ハ先ヅ第一我日本ニ軍艦ノ
アルコト世人ニ知ラシムル虚術ニ依テ我國ノ實名ヲ得ルコト
ナラズ、第二軍艦ヲ運轉スルガ爲メ我士官ヲシテ航海ノ術ニ
熟シレバ大ニ其實益ヲ得ルコトナラン、此他海軍ノ樂隊ヲシ
テ其博覽會場ニ我日本ノ樂隊ヲ奏セシムル杯ノ方便モアルベ
シ既ニ日耳曼佛蘭西ノ如キハ現ニ其樂隊ヲ派出シテ場中ニ
其技ヲ演ズ支那ハ彼レガ古風ノ樂隊ヲ奏シテ尙衆人ノ歡ヲ博
ス我日本ノ樂隊ヲシテ其近世ノ海軍樂隊ヲ奏セシメタラバ
我國日進ノ有様ヲ英國ノ俗人ニ知ラシメ外交上利益ヲ得ル
コト亦ナカテアラザルベシ既ニ今年ノ博覽會ハ退ケ閉場ノ期ニ
モ近ツキ又其出品モ既ニ當地ニ着セシ時ナレバ今更詮
方モナキ次第ナレバ最初ヨリ此邊ニ見込メ付カザリシハ余
輩ノ最モ遺憾トスル所ナレバ後來參考ノ爲メモカナト聊
カ此ニ一言スルノ所ナリ

佛清事件
佛國政府ハ内情 佛國の極左黨ハ佛清事件ニ付テハ...

く支那との和議を議決すべき旨をフョー氏に迫りたる由
然るにフョー氏ハ前議院にて信任の投票を爲せしとき
政府方が勝利を得たる之後日政府は於て自由此事件を處
置せんとする保證ありと信するを以て毫も臨時會を開く杯
の見込なし尤も大統領クレヰグキ氏は之と説を異にし議院
の同意を得ずして戰爭を行ふは不法の所爲ありとの説を持
ざる由と八月下旬發兌の龍動新聞に見えり
○ヨング公使 北京駐在米國公使フツセル、ヨング氏之領
事チニヤイア氏及びスミス氏夫妻と共に去月二十六日
の朝北京より天津に赴き同日午後一同打連れて李鴻章の邸
宅を訪問ししるよし右に付テ李鴻章は其翌日屬官と共に米
國領事館を見舞ひヨング氏に面きて訪問禮を陳べたりと
云ム
○李鴻章親兵ハ營所 天津なる新浩の兵營は是迄李鴻章の
親兵が駐紮し居りしが同兵は曩に山海關へ發遣されしを
以て其跡は悉皆取毀ら木材類は孰れも賣却ししるよし右營
所は四年前に造作せし處にて七萬兩を費したるものありと
云ム
○無夜營ヲ移す 天津に在りし支那兵七千は去月廿三四
日夜に於て大沽、北塘、蘆臺の方に出發ししるが右は天津
の人民等々騒擾せんと恐れ故ら夜間を以て營ヲ移しし
るなりと云ム
○清國電信局廻文 今後清國電信局よてハ官報(國王、宰相
、陸海軍司令官及締約各國の公使領事等より發送する電信
并返信の如ク)云ム)ニ非ざる暗號電報之通信取扱ム可ら
すと此廣告を發ししる旨去月廿四日付清國日本公使館よ
り報告ありと云ム
○廣東清官罷官を被る 廣東の總督張之洞初め彭玉麟張樹
聲倪文蔚等が連名にて撤文を發シ沿海の支那人民等亦有と
あらゆる手段を盡して佛人ト困むべき旨を勸めたる中に一
人佛人ハ飲食物ヲ與フルルハ其中ニ毒物ヲ放置シテ自ラ
斃レシメ云々と云へる文字ありしが(本月四日の本紙佛清
事件欄内見よ)如何に攘夷黨の充滿する清廷にても此事
計りの餘り甚しき所爲なりと認めりしと見之近頃發兌の香
港新聞ハ北京駐英公使バックス氏より香港政府に送りし
るものなりとて左の電報と載せたり
九月三十日ノ京報ニ廣東ノ大官ガ撤文ヲ發シテ佛人ヲ毒
殺スベキ旨ヲ支那人等ニ勸メタルヲ證實スル甚ク満足ナ
ル上輪ヲ載セリ

○軍用金銀集
人散打寄りて
争ヲ持續せし
り云ム
○龍動商人ハ
口埃塞の事ヨ
上海ノ局外け
政府に佛清事
人の知る處不
ありしと見ゆ
程龍動の商人
清現狀に付
政府に請ふて
み於てし戰争
書を政府に
事する商人等
の政府に向り
る可と云ム
る者は極めて
米の三國ある
見たり
○戰争ハ影響
と商賣の取
し隨て其價
○龍動商人
龍動の商人ハ
のある中に
窮するが故
し得ざる新
際戰爭ある
りしよし
○獨逸租界
ノ公ハ北京
を組成せし
れたしと願
を組成せし
今獨逸租界
意を得ざる
府に向ひ佛
獨逸として
とを得せし
は假と可し
信偽は扱て

FULL MICRO SAFETY A N